

インターネット公開許諾のない作品には墨塗り処理を施しています。

春

水車のぎかにめぐる音なり白梅咲ける河添ひの里。

青柳もいつかめぶき川上の山の麓に春霞する。

静かなる小庭に一人たゞすめばおほろ月あり花の梢に。

伊 坂 眞 鏡

夏

壁は落ち草おひ茂るあばら家の土塀に牡丹咲きそめにけり。

麥秋の朝けの山に炭を焼く煙細々立上るを見ゆ。

青葉をば河にうつせり五十鈴川その下影に若鮎のゆく。

開きゝる蓮ハヂスの花に風そよぎ今か散らんこしばしたゝすむ。

秋

萩の葉にこまるをまごふ赤さんほ池の面にもそよ風吹きぬ。

君いまさず淋しくかへる草原に泣きみだれたる虫の聲きく。

友もなくさすらふ池のたそがれにいまをさかりこ萩の花さく。